

## 第85回ウォーキングのご報告

10月30日（木）雲一つない晴天に恵まれ、「名鉄のハイキング」常設コース「羽島市歴史民俗資料館特別展・新濃尾大橋を渡るコース」に出かけました。  
今回は4名が名鉄の羽島市役所前駅に集まり、10時過ぎに、駅にある二次元コードでコースマップをスマホに読み込み、元気に歴史民俗資料館に向けて出発しました。



羽島市役所前駅を出発



歴史民俗資料館前で集合写真を撮る

資料館には円空、織物、輪中などの郷土資料が展示され、関ヶ原合戦の前哨戦として「竹ヶ鼻城の戦い」があったことを初めて知りました。次に羽島駅近くの羽島中央公園（コッペ亭公園）まで歩き、ここで一休み、昼食にしました。



資料館で羽島の歴史を知る



コッペ亭公園で一休み

昼食後、名神高速道路羽島インターの東側を通り、羽島円空資料館にたどり着きました。資料館では地元中学生達の校外学習に合流させてもらい、管長さんから円空についての説明をしっかりと時間をかけて教えてもらいました。羽島が生涯12万体の仏像を彫ったといわれる修行僧円空の生誕の地であることを知りました。また全長222cmの十一面観音像など16体の円空仏を間近に見ることができました。



羽島丸空史料館に到着



中学生と一緒に丸空の説明を聞く

午後2時頃、丸空史料館を出発し、今年の5月に開通したばかりの新濃尾大橋への長い道のりをたどりました。新濃尾大橋は濃尾大橋の慢性的な渋滞を解消し、災害時に救援物資搬送経路強化のため作られました。自動車はスムーズに流れていました。私たちは広々とした歩道を木曽川を眺めながら黙々と歩き、午後4時すぎにようやくゴールの名鉄萩原駅にたどり着くことができました。



誰も通らない新濃尾大橋を渡る



萩原駅に着いてベンチに座り電車を待つ

今回のコースは全長13kmあり、スタートからゴールまでに6時間近くかかりました。最後には脚が痛くなる参加者もあり、コースとしては少し長すぎたと反省しています。それでも、ウォーキングには絶好の天気恵まれ、道中の話もはずみ、楽しい一日でした。次回は、「聚楽園大仏を囲む紅葉を眺め晩秋を感じるコース」を予定しています。